

大高やまぼうし会

全体同窓会のご案内



「大高やまぼうし会」全体同窓会

— 同窓生の心と心を結ぶ架け橋 —

日時 平成15年5月25日(日)

総会(議事運営ほか) PM12:15~12:45(別室)

全体同窓会 PM13:00~16:00

1300年来、大切に護り伝えられてきた
いにしへの響・雅楽のしらべ
— 越天楽 他 —

PPM(ピーター・ポール&マリー)コピーバンド
— 500マイル・花はどこに行った・パフ 他 —

お楽しみ抽選会

ためになる「体験談コーナー」— 先輩会員による —

「こんなことやってます!! コーナー」

各回の会員の中でさまざまな活動をしている
人・会などを紹介するコーナー

会場 大宮パレスホテル 4階
「ローズルーム」

会費 10,000円(着席形式)

- ・大高同窓生の夫婦・兄弟・姉妹・親子の方はペアでご参加の場合
ペア参加料として18,000円に割引になります。
- ・ご出席の方は同封の郵便振替票にて**5月10日**までにお振込みください。

大宮高校同窓会
HPアドレス

<http://www.yamaboushi-omiya.com>

同窓会事務局メールアドレス

dousoukai@yamaboushi-omiya.com

これからの同窓会企画行事のご案内

なつかしい仲間と出会う日・卒業生全員集合!!

今年の行事予定をご案内いたします。
仲良しのお友達・ふだん会えそうで会えないお友達をさそって奮ってのご参加をお待ちしております。みなさまに喜んでいただけるような楽しい集いにしていこうと思います。

全体同窓会 パレスホテル大宮 5月25日(日) 13:00~

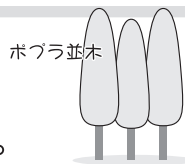
(詳細は1頁に)先輩会員による有意義な「体験談コーナー」・1300年来大切に語り伝えられてきた「いにしへの響」雅楽演奏・PPM(ピーター・ポール&マリー)のコピーバンド・お楽しみ抽選会など楽しい企画がいっぱいです

富士山の会 バス旅行(新企画) 7月24日(木)~25日(金)



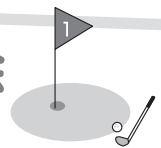
富士山に登り、日本の心、大和心を感じよう!!
山のぼりが好きな人は富士山の頂上めぐりして八合目の山小屋に泊り、次の日頂上をめざします。
山のぼりが苦手な人は富士山のふもとで温泉に入っているのんびりと。行きと帰りは一緒にいろいろな富士山を楽しめる企画です。*会費20,000~22,000円位を予定

大高祭 「同窓会ルーム」を開きます。 9月6日(土)・7日(日)



一年に一度、母校を訪れ、
高校時代にタイムスリップしてみませんか!!
校門に入って右手の奥、道なりに進むと平成9年に建築された立派な「山ぼうし会館」がみえてきます。その2階の部屋が「同窓会ルーム」です。なつかしいアルバムの展示と茶菓子の接待が有ります。
*只今、作品展示並びに発表・講演・講習などをしてくださる方募集中です。

第2回 ゴルフ同好会 10月8日(水)



今年の優勝トロフィーは誰の手に!!
初心者の方も大歓迎です。*会費約19,000円を予定

ウォーキング同好会 第2回 秩父札所巡り バス旅行 11月8日(土)



昨年が一番札所の紅葉がとてもきれいでした。今年もユックリ3~5ヶ寺をめぐると思います。同窓生以外の同伴者も参加可能です。
*会費約6,000円を予定

大高時代活躍した人 大集合!!

生徒会の会長・副会長・執行部・ホームルーム委員長経験者その他、現在も大宮高校に愛着と思い入れを持っている人で同窓会の横の仲間作りをサポートしたい会員の集い(仮称:同窓会サポート協議会)を開催する予定であります。上記の方は事務局までご連絡をお待ちしております。

クラス会・同期会・部活OB会の開催状況をお寄せ下さい!!

本紙では、紙面の一層の充実を図り、会員にクラス会・同期会・部活OB会の開催状況を広くお知らせするために、投稿をお待ちしています。(ホームページに掲載いたします・クラス会等を開く場合、幹事さんのサポートをいたします)

「要領」開催の様様(開催日時・場所・参加人数)と、写真を添えて投稿者の氏名・住所・電話番号・卒業年を明記して下記にお送りください。EメールでもOKです。

「宛先」〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-3-19 関根ビル3F
埼玉県立大宮高等学校同窓会事務局宛

あいさつ



同窓生の心と心を 結ぶ架け橋

大宮高校同窓会会長
中村 孝三

同窓会だより第2号が発刊の運びとなりました。会員諸兄、役員諸兄の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。次第でございます。会員諸兄におかれましては、ご健勝にて益々活躍のこととお喜び申し上げます。3年後の平成18年2月1日は母校も創立80周年の節目を迎えます。伝統の自主自立文武両道の大高精神に鍛えられた28,000名で構成する「大高やまぼうし会」の同窓会だよりが同窓生の心と心を結ぶ「架け橋」としての役割を果たし、躍進する母校の現状を正しく伝え母校の発展に貢献できればと思っております。今年さらさら紙面も充実し楽しんでいただける会報となりました。

式では、同窓会の維持・運営が充分には成り立ちづらくなっております。今後、年会費制にするなどのなんらかの対策をたて、同窓会が母校と同様にさらに充実し発展することができまますように皆様の温かいご理解ならびにご助力とご支援をお願い申し上げます。

今年度の6つの事業計画

- 1、80周年を3年後に控えて、6,000名の住所不明者の調査を2年計画で行い名簿の精度をあげ、より充実した同窓会名簿の発刊にむけて組織的に準備する。そのためにも同窓会だより第2号を発刊する。
- 2、「大高やまぼうし会ホームページ」の充実ははかり、バナー広告50社を募集する。
- 3、同好会ゴルフ部会、歩く会の秩父札所巡り、新企画の富士山に登る会(仮称「7月24、25日頃予定」)を実施する。
- 4、大高文化祭に参加、今年も昨年に続いて、母校の文化祭に気楽に参加していただきあわせて同窓生の作品展示会を行う。
- 5、ドイツコトブシ市姉妹校との国際交流事業の後援。
- 6、「埼玉県立大高やまぼうし会」全体同窓会の開催(詳細は1頁に記載)

今年も昨年同様多くの会員の方々にご参加をいただけたこと、皆さま方の御協力を心よりお願い申し上げます。最後になりましたが、会報第2号の「題字」を第10回卒の村井紫扇様にお願ひ致しご協力頂きましたことを心から御礼申し上げます。



同窓会だよりあいさつ

大宮高校校長
三戸 一嘉

同窓の皆様、こんにちは。昨年4月「同窓会だより」が発刊されて早1年、会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。皆様の母校・大宮高校は本年度創立77年目、人間で言えば「喜寿」のおめでたい年を迎えました。そろそろ80周年記念行事の話題があちこちで囁かれ始め、学校側としても準備に入る時期と考えております。

さて、今回は創刊号に続いての挨拶と学校の近況報告となります。

先ず、国を挙げての教育改革の大きな流れの中で、私どもは教育に於ける「不易と流行」、時代の変化や生徒の実態等を考慮しながら、新しい大宮高校の姿を検討し改革を進めております。その中で、皆様が培った文武両道や自主自律の精神は、何より守り育てたいと考えている一方、制度や行事等は生徒の実態と将来を考え、最も相応しいものに変えていくべきと考えております。こうした流れの一環として、前号で報告しました65分授業をはじめ種々

の取り組みを行っております。15年度には3学期制を2学期制に移行し、それに伴う行事等の適正な再配置を進めます。今後とも、皆様をはじめ保護者・県民の期待に応え、伝統ある進学校として使命を果たして参りたいと存じます。

次に、皆様にご支援いただいております国際交流については、14年度は受入れ、15年度は派遣となります。昨年度の受入れについては、後のページで報告させていただきます。今年度は引率2名、生徒15名を8月13日(木)から25日(月)までの13日間、ドイツへ派遣する予定で現在、相手校と現地での交流計画の詳細について調整しております。生徒たちが人生で最も繊細で多感な時期に自分自身の目で、耳で、感覚で触れ合いを感じることは何より貴重な体験であり、21世紀の国際社会を逞しく生き抜くために必要なことと考えております。より一層のご支援をお願い申し上げます。

国際交流

創立70周年の記念事業として毎年ドイツ・コトブス市の姉妹校と提携し、国際的視野を広げています。

—ドイツ短期交流 感想(抜粋)—

ホストスチューデント

家では父が積極的に話してくれてうれしかったし、気が楽になった。いつもいって本当に楽しかった。『がしたい』とはっきり言うてくれるところが、かえって助かったよ、ジョークを言い合ったりしてよい友達になれた。日本独特のものにも挑戦しようとしていた。

(2年女子)

昨年自分がドイツに行った時より、ドイツ生が日本に来たときのほうがカルチャーショックを受ける度合いが大きくなった。趣味を通して分かり合えたと思う。2週間、とても楽しかった。いい夏休みでした。

(3年女子)

家ではたくさん話をした。おかげで2人とも寝不足気味(?)になってしまった。料理を作ってくれたりして、楽しい時間を過ごせた。最後に、部屋に手紙が残されていたのを発見したときは感動した。よい思い出ができた。

ホストファミリー

(3年女子)

本当によいお子さんにめぐり会えました。言葉の壁を100%乗り越えたとは言いませんが、心は通じ合えたかなと思っております。特別に構えずに普通に生活するのが一番だと思います。充実した日を送ることができました。

従来米国の人は多く接し理解していましたが、今回、ドイツ生を迎えて、新しい異文化を知ることができました。

初めての経験で、疲れはしましたが、楽しく終わったような気がします。日本にきて、楽しい思い出を作った。子供にとっては、何かプラスになったことはまちがいないと思っております。これからの子供たちにとって国際交流は不可欠なことだと思います。今後も継続して行っていくべきです。

ドイツ生

素敵な2週間をありがとうございました。いろいろな活動を楽しみ、日本の文化・宗教・生活様式を理解することができました。日本はとてすばらしい国で人々は大変親切です。今回の滞在を決して忘れることはありません。



参加者と成績

順位	卒業期	年度	氏名	グロス	ハンデ	ネット
1	2	昭和25	国藤 定保	86	15.6	70.4
2	17	昭和42	石塚 幸治	82	9.6	72.4
3	19	昭和44	島崎 正	101	27.6	73.4
4	19	昭和44	守屋 吉康	81	7.2	73.8
5	11	昭和36	山田元一郎	90	15.6	74.4

(参加者数24名)

幹事より一言

初めての企画で、会員へのご連絡、進行等スムーズに行かない部分がありましたことをお詫びいたします。次回はより多くの方の参加と賞品の充実、楽しい企画をさせていただきます。皆様のご協力とご参加をお願いいたします。

代表幹事 17回卒業 石塚 幸治
運営責任者 19回卒業 守屋 吉康

2002年
9月14日(土)

ゴルフコンペ開催!

第2回やまぼうしコンペ開催のお知らせ

日時: 10月8日(水) 先着10組
コース: プレジデントカントリークラブ(栃木)
費用: 約19,000円(パーティー・賞品込み)

奮ってご参加ください。
技量は関係なし! みんな仲間です!
(ゴルフ同好会に登録されている方には、後日詳細をお送りいたします。)



事務局からのお知らせ

やまぼうし同好会・ウォーキングの会
参加者募集中!

2002年
11月9日(土)

秋の秩父観音 霊場めぐり

(参加人数31名)

11月9日(土)にウォーキング同好会第1回行事として「秋の秩父観音霊場めぐり」を開催いたしました。当日は高校時代に足り遠足気分でもとても楽しい一日を過ごすことができました。



【秋の秩父観音霊場めぐり】に参加して
(23回生 渡邊 真理代)

澄み渡る青空の下、卒業以来初めて大高同窓会の行事に参加する。中村会長の「是非参加したら! 楽しいよ!」の言葉に心動かされた。参加を決めたものの、集合場所に近づくと「やっぱ、誰か連れがいた方がよかったです。」などの思いも浮かんでくる。しかし、会長や事務局の方々のとびきりの笑顔に出会ったとたん、そんな心配も吹き飛ばし、事務局の綿代さんの「よかったです。」の一言に、中村同窓会事務局には常に流れている。バスの席に着くと、飲み物とカワイイ袋詰めのお菓子が配られる。出来合いのものではなく、ひとつひとつおいしいと思えるお菓子を買い、ビールのおつまみ中心の男性用と甘いおかしも入った女性用に分け、カワイイ袋につめて下さったそう。充実した内容の手作り小冊子、秩父札所めぐりのしおり、も用意されている。楽しい! 祝福しているかのようにくつきりと顔を出す富士山を背に、中村会長の挨拶がスタート。その後、それぞれ

の自己紹介が始まる。自己PR大いに結構とのこと、私も自分の仕事(アロマセラピー)の宣伝をさせていた。第2回卒業生の鈴木大先輩を始め、個人的なお話が続き、近況報告をなさる方、大高時代の思い出話など多々。その中で大高同士のカプルの話も聞く。ご夫妻もまた大高カプルの「あんまりたくさんいらつしやるんで、今度大高で50周年の会を作ろうと思ってる。」と、それじゃあ、私も一人紹介して! などの声も飛び出す。和気藹々、まるで昔からのお知り合いと旅行しているようだ。年代順に並んだ名簿をみて、「若い方だと思ってたのに、自分の名前が上の方にあってびっくり!」の声に、笑い声も上がる。ご自分だけでなくご家族をお連れになられた方、ご友人のきれいな所を連れて来た方、私のように「実は結構勇気を出して、一人で参加しました!」と告白される方、バスの中ではまるでひとつのファミリーのよう。ああ、これが大高カラーだと懐かしく思いつく。あつという間に、秩父に近づくと、一番札所を前に、事務局から参拝の際のお作法の説明があり、般若心経を唱える練習もする。楽しいだけ、般若心経が正されたところ、きちんと礼を尽くす。気持ちもよくなった。四萬部寺に着くと、もみじが美しく、秩父札所一番にふさわしい趣、本堂に入り、一同般若心経を唱える。なぜか気持ちがしゃんとする。不思議なことに、私のバッグのチェーンが突然切れる。「なにか、解き放したほうがいいものがはずれたのね。」とのこと。そうなんだと、感謝する。納経帖を手に2箇所の第18番神門寺に向かう。昔は神社だったという小振りなお寺。ここでも、般若心経を唱える。つづいて、夜祭りで有名な秩父神社に参拝。ラッキーなことに、ガイドのおじいさんが英語も交えている説明して下さる。彫り物のみでなく、めずらしい植物についても教えていただいた。道すがら、相田みつをギャラリーもぞく。秩父に所縁があったそう。古い銘仙問屋を改装した素敵な空間の中、思い思いの作品を眺める。ひとり、今、心に染み入ることは違つた。いろいろ、思いつづき言葉の前で立ち止まる。ギャラリーを出ると、お日様の下、雪が舞う。まるで言葉と雪でダブル浄化されたよう。そんな思いで、昼食のじばさんセンターへと向かう。お昼ご飯は、釜飯にお蕎麦、茶碗蒸しと盛りだくさん。秩父菜のお漬物がおいし

いと、女性はお土産候補にあげる。「手打ちうどんもお薦めだよ!」と会長からアドバイスもあり、そこで土産タイムとなる。食後は、第13番の慈眼寺へ。ここには、輪堂があり、經典の集大成が納められている。取っ手を握ると右に三回まわると、全巻読了の功德があるという。まるでデパートのお寺のよう。皆で心をこめて三回まわした。また、慈眼寺というだけに、眼によいというお茶もあり、それもいい。ちやっかりし、音楽寺に向かう途中、急に曇りだか霧がからまない丸い塊がたくさん降ってきた。見る間に、みぞれのようにかわりともお参りできる天気ではなくなった。ところが、音楽寺に着いたとたん、みぞれは止んでしまった。さあ、お参りをどうぞ、といわんばかりに。水で清められ、一段と清々した山道を歩く。十三地蔵の顔を眺め、美しい音色で響くといわれる梵鐘も鳴らして、美しい景色が晴れ晴れと。ここで、中村会長よりもう一箇所回らないかとの提案がある。中村会長の一番のお気に入りの札所、第32番法性寺があるという。当然異議なく、第32番法性寺に向かう。静寂のなか鐘楼門をくぐり、急勾配の石段を登っていく。会長のおっしゃる通り、まるで中国の水墨画の世界に入り込んだ気がする。奥の崖の中に、舞台造りの観音堂が建っている。奥の舞台から眺めると、観音堂にタイムスリップしたかのような感覚を覚える。お参りできて本当に良かった。心が洗われた気がする。心も足取りも軽く今回の最終札所、第21番観音寺に向かう。ここは、火難に強いそう。一回つづがなく、今回の参拝を終える。12年に一度という年総開帳。11月30日には、再び扉が閉じられてしまうというこの時に、諸先輩の方々と心をひとつにして霊場めぐりができたことに、なにが不思議な感じがしてしまふ。忙しい日常で忘れていた心の静寂と、戻れる場をいただいた気がした。

たった一日では、残念な札所めぐり。途中でバスを降りられた野球部OBの先輩の「本当にいい一日でした。一人で参加したけれどとても楽しかった。事務局の方々、そして皆さん、ありがとうございました。次回も絶対参加します!」という言葉が、皆の想いの代表のような気がした。バスは、諸先輩の美声とともに家路に向かった。感謝の気持ちをたくさん乗せて...

賛助金一覧表

氏名	回数	口数	氏名	回数	口数	氏名	回数	口数	氏名	回数	口数
島村 裕司	1	2	末吉 敏子	8	1	関根 雅子	18	1	鈴木 智恵子	27	1
新井武雄	1	1	秋山 永美子	8	2	石井知恵子	18	1	鳥海 智子	26	1
清水 實	1	2	山崎 千代	8	1	吉浜恵美子	18	1	永峰 博之	28	1
小川 裕章	1	1	北西 久代	8	1	加藤千恵子	18	1	室本 節子	28	1
草刈 利夫	1	1	荒井 泰正	8	1	池田 彰克	16	1	藤井 裕子	28	1
西沢 真平	1	1	吉橋 道正	8	1	河原林 一男	16	1	城川 典子	28	1
岡田 晃	1	1	今井 晃弘	9	1	省吾 隆茂	16	1	小松 俊一	29	1
篠田 雅業	1	1	長島 透道	9	1	吉田 和子	16	1	坂岡 亮	29	1
山崎 實	1	2	奥村 克巳	9	1	丸山 協子	16	1	長窪 隆幸	29	1
新井マサ子	2	1	大竹 節子	9	1	菅野 博夫	16	1	酒井 章吉	29	1
大藤 兼丘	2	1	金井 敬子	9	1	佐藤 裕子	16	2	志水 香苗	29	1
平栗 万里子	3	1	杉山 桃子	9	1	遠藤 幾代	16	1	菅原 明美	30	1
田村 比佐子	3	1	須田 安子	9	1	原澤由紀代	16	2	浅田 智子	30	1
宮川 比佐子	3	1	石田 和	10	1	山口江美子	16	1	瀬山 智子	30	1
中本比正夫	3	1	斉藤 一紀	10	1	熊谷 一行	17	1	奥村 恭史	32	1
関口 正夫	3	1	高橋 和延	10	2	岩井 邦夫	17	1	白倉 勉	32	1
長島 敬一	3	2	石井 亮二	10	2	坂本 博秀	17	1	林 克之	33	1
流杉 三郎	3	2	内田 秀規	10	2	石塚 幸治	17	2	阿部 哲	33	1
山田 康	3	2	遠井 康雄	10	1	深草 茂美	17	1	島田 義之	33	1
渡辺 喬	3	1	加藤多恵子	10	1	斉藤かほる	17	1	宮之原 正	33	2
市川 南	3	1	犬塚 宣子	10	1	井上 敏夫	17	1	田沢 恵子	33	1
駒崎 清人	3	1	小川 楊子	10	1	大久保俊哲	17	1	長沢 智裕	34	1
佐々木 旭	4	2	桑谷 弘枝	10	1	川村 修	17	1	加藤 裕	34	1
南 栄	4	2	渡辺 公子	10	1	小幡 組子	17	1	針谷 明房	34	1
帯津 利尚	4	1	雨宮 三枝	10	1	市田 結子	17	1	興井 雅世	35	1
加藤 一男	4	1	高橋 有子	10	1	榎本 悦子	17	1	加藤 幸子	35	1
渡辺 久	4	1	中道 文子	10	1	栗島 恵美	17	1	細井 康成	36	1
板原八重子	4	1	岸 金造	11	2	藤田 泰枝	17	1	長谷川 大	37	1
芦谷 道雄	5	2	山田元一郎	11	2	森田 照代	17	1			
阿部 豊彦	5	1	青木 重幸	11	2	新井 幸男	18	1			
富山崎 善治	5	1	石井 勝美	11	6	金子 静江	18	6			
横溝 善治	5	1	伊藤 浄	11	1	引間 登志雄	18	1			
森野 覚	5	2	磯崎 照美	11	1	牧野 芳則	18	1			
高野 文子	5	2	赤熊かつ子	11	1	松沢 清	18	2			
坂本 孝子	5	2	川鍋 昌江	11	1	井原 茂	18	1			
松本 一郎	6	1	岡田 正	12	1	内田 四郎	18	1			
関根 隆俊	6	1	嶋崎 洋明	12	1	佐藤 勇	18	2			
天沼 義江	6	1	江田 光治	12	1	佐藤 常吉	18	1			
洪谷 光江	6	1	黒須宣之助	12	1	六沢 昭夫	18	1			
秋元 宏文	7	1	吉田 重光	12	2	長沢 信一	18	1			
岡田 一郎	7	1	中井川勝彦	12	2	浜名 洋	18	1			
白根 繁光	7	10	白田 智子	12	1	英夫 洋	18	1			
大室 弘子	7	1	青木 克之	13	1	矢野 正明	18	1			
大富 和子	7	1	石井登茂男	13	1	大竹 邦男	18	1			
岩崎 信子	7	1	戸井 陸雄	13	1	岡本 功二	18	1			
小島美智子	7	1	神山 純夫	13	1	熊木 敬治	18	1			
小宮 輝夫	8	1	清成 本	13	1	柴崎 良一	18	1			
鈴木 昭三	8	1	田村 洋子	13	1	速水 敏一	18	1			
田中 幹夫	8	1	松本 成通	13	1	森三 秀雄	18	3			
松本 凌次	8	1	平松 庚三	14	1	森泉 秀雄	18	1			
加藤 久雄	8	1	岡田 斐子	14	1	齋藤 治一	18	1			
佐藤 和夫	8	1	岡本 正子	14	1	並木 信一郎	18	1			
森 日出彦	8	1	中田世津子	14	1	佐久間昭男	18	1			
藤田 正利	8	1	小池久美子	14	1	薄井 晴男	18	1			
山本 嘉男	8	1	南雲喜恵子	14	1	指田 晴美	18	1			
殿塚 艶子	8	1	平嶺 行雄	15	1	杉山 栄一	18	1			
木下 英子	8	1	篠原 昭夫	15	1	高橋 昭夫	18	1			
山田 薫	8	1	竹内 正	15	1	竹井 満久	18	1			
小宮 久子	8	1	吉川 久子	15	1	奥沢 久子	18	1			
白子 春江	8	2	石井 玲子	15	1	土城 潤子	18	1			
本橋 美子	8	1	石随千恵子	15	1	中村香美子	18	3			

氏名	回数	口数	氏名	回数	口数	氏名	回数	口数	氏名	回数	口数
鈴木 智恵子	27	1	関根 雅子	18	1	鈴木 智恵子	27	1	松島 宣正	37	1
鳥海 智子	26	1	石井知恵子	18	1	鳥海 智子	26	1	木島 雄一	38	1
永峰 博之	28	1	吉浜恵美子	18	1	永峰 博之	28	1	三上 恭子	38	1
室本 節子	28	1	加藤千恵子	18	1	室本 節子	28	1	中田 光一	39	1
藤井 裕子	28	1	池田 彰克	16	1	藤井 裕子	28	1	堀切 近史	42	1
城川 典子	28	1	河原林 一男	16	1	城川 典子	28	1	寺田 真理子	42	1
小松 俊一	29	1	省吾 隆茂	16	1	小松 俊一	29	1	堀越 由美子	42	1
坂岡 亮	29	1	吉田 和子	16	1	坂岡 亮	29	1	時見 直洋	43	1
長窪 隆幸	29	1	丸山 協子	16	1	長窪 隆幸	29	1	伊沢 正篤	44	1
酒井 章吉	29	1	菅野 博夫	16	1	酒井 章吉	29	1	箱守 明	44	1
志水 香苗	29	1	佐藤 裕子	16	2	志水 香苗	29	1	甲斐 洋平	45	1
菅原 明美	30	1	遠藤 幾代	16	1	菅原 明美	30	1	折原 竹九	45	1
浅田 智子	30	1	原澤由紀代	16	2	浅田 智子	30	1	時見 玲美子	45	1
瀬山 智子	30	1	山口江美子	16	1	瀬山 智子	30	1	新谷 奈穂美	45	1
奥村 恭史	32	1	熊谷 一行	17	1	奥村 恭史	32	1	平澤 洋史	46	1
白倉 勉	32	1	岩井 邦夫	17	1	白倉 勉	32	1	豊田 学	48	1
林 克之	33	1	坂本 博秀	17	1	林 克之	33	1	豊田 栄子	50	1
阿部 哲	33	1	石塚 幸治	17	2	阿部 哲	33	1	荒井 由美	50	1
島田 義之	33	1	深草 茂美	17	1	島田 義之	33	1	松本 千尋	50	1
宮之原 正	33	2	斉藤かほる	17	1	宮之原 正	33	2	稲川 陽三	51	1
田沢 恵子	33	1	井上 敏夫	17	1	田沢 恵子	33	1	渡邊 孝浩	51	1
長沢 智裕	34	1	大久保俊哲	17	1	長沢 智裕	34	1	青木 晶	51	1
加藤 裕	34	1	川村 修	17	1	加藤 裕	34	1	山田 裕子	51	1
針谷 明房	34	1	小幡 組子	17	1	針谷 明房	34	1	飯嶋 壮平	52	1
興井 雅世	35	1	市田 結子	17	1	興井 雅世	35	1	山岸 智久	52	1
加藤 幸子	35	1	榎本 悦子	17	1	加藤 幸子	35	1	齋藤 宏和	52	1
細井 康成	36	1	栗島 恵美	17	1	細井 康成	36	1	田坂 麻美	52	1
長谷川 大	37	1	藤田 泰枝	17	1	長谷川 大	37	1	樋口 牧子	52	1

総会懇親会参加費 (10,000円)
 賛助金 (一口5,000円)
 同窓会報購読料 2,000円
 の振込用紙が同封されております。

(農商ほか)

氏名	校名	卒業年	口数
鷹 繁	農商	S11年	1
杉山 忠五	農商	S11年	2
内田 安治	農商	S12年	2
高橋 秀雄	農商	S15年	1
金子 貞吉	農商	S16年	2
吉田 憲治	農商	S18年	1
長島 好一	農商	S19年	1
樋上 吉郎	農商	S19年	1
齋藤 武男	農商	S20年	1
新見 芳雄	片倉学園	S21年	2
齋藤 一男	片倉学園	S21年	2
天海 清	片倉学園	S22年	1
内田 稔朗	片倉学園	S22年	2
矢島 信男	片倉学園	S22年	1
田中 照二	片倉学園	S23年	2
青木 光男	片倉併中	S24年	1
進藤 大宮一高	大宮一高	S24年	1
中嶋 昭二	大宮一高	S24年	1
町田 博次	大宮一高	S24年	1
森田 昭吾	大宮一高	S24年	1
国藤 修誉	大宮一高	S25年	1
小出 洪谷	大宮一高	S25年	1
安田 平典	大宮一高	S25年	1
村木 秀子	大宮一高	S25年	1
久保 福子	大宮高女	S11年	1
石田 登代	大宮高女	S16年	1
田中伊都子	大宮高女	S17年	1
岩見 禮花	大宮高女	S18年	1
福田月よ	大宮高女	S18年	1
秦 房子	大宮高女	S19年	1
平田 智子	大宮高女	S20年	4
森田百合子	大宮高女	S21年	1
柳田 孝子	大宮高女	S21年	1
張替瑠璃子	大宮高女	S22年	1
古屋 和子	大宮高女	S22年	1
森口 秀子	大宮高女	S23年	1
田中ふみ子	大宮高女	S23年	2
三ツ木美貴子	大宮高女	S23年	2
島村 友子	大宮高女	S24年	1
駒崎 ひさ	大宮高女	S24年	1
川井 美枝	大宮女子高	S24年	1
小林 滋美	大宮高女	S25年	1
高星千鶴子	大宮女子高	S25年	1

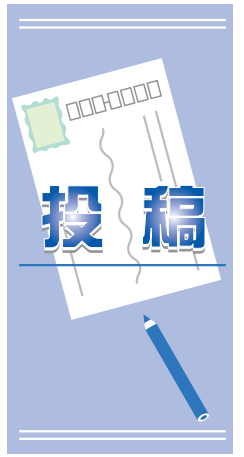
● 賛助金についてのお礼とお願い ●

昨年度、創刊号にて賛助金募集のお願いをさせていただいたところ、上記の会員の方から暖かなお気持ちをお寄せいただき深く感謝申し上げます。青春が一番多感な時を過ごしました母校は歴史と伝統ある進学校として県内でも有数の高校へと発展しております。全体同窓会の活動は会長の交代に伴い、事務局を設置して昨年からは従来の運営を一新いたし会員相互の交流をより活発にするための様々な企画に取り組んでおります。80周年をめざし、同窓会の運営と活動がより充実し、皆様方のお役に立つ同窓会として成り立っていきますよう本年度も賛助金募集にご協力いただきたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大宮高校の進路状況

2003年3月31日現在

大学名	現役	浪人	合計	大学名	現役	浪人	合計	大学名	現役	浪人	合計
北海道大	3	1	4	青山学院大	14	7	21	東邦大	8	4	12
岩手大	1	1	2	桜美林大	1		1	東洋大	27	11	38
东北大	1	5	6	大妻女子大	2		2	日本大	24	9	33
秋田大	1		1	学習院大	4	5	9	日本獣医畜産大	1	1	2
茨城大	2		2	北里大	5	7	12	日本女子大	12	6	18
筑波大	6	4	10	共立女子大	2		2	日本赤十字看護大	5	1	6
宇都宮大	3		3	共立薬科大	3	1	4	文化女子大	2		2
群馬大	1	2	3	杏林大	4	2	6	法政大	52	13	65
埼玉大	20	3	23	慶應義塾大	16	10	26	武蔵大	10	1	11
千葉大	3	6	9	工学院大	2	2	4	武蔵工業大	1	2	3
お茶の水女子大	1		1	國學院大	2	1	3	明治大	60	22	82
電気通信大		2	2	国際基督教大	5	1	6	明治学院大	16	5	21
東京大	3	1	4	駒澤大	18	1	19	明治薬科大	3	2	5
東京外国語大	2	1	3	実践女子大	2		2	立教大	60	15	75
東京学芸大	4		4	芝浦工業大	25	24	49	上正大	2		2
東京芸術大	1		1	上智大	13	11	24	早稲田大	58	27	85
東京工業大	6	2	8	昭和大	1		1	学習院女子大	1		1
東京水産大	1		1	昭和女子大	4		4	麻布大		6	6
東京農工大	3	1	4	昭和薬科大							



同窓会だよりによせて

二十一年卒 野本 信吉

同窓会だよりの意味は、蛭雪の学舎は今どうなっているのだろうか、と思っている多くの卒業生に消息を知ってもらい、心の温もりが得られれば幸いと考へ、昨年一号が発行され、去る二月二十一日役員会で継続協議の上発行がきまりました。

私も七十四歳となり役員歴十数年になります。滅多に出席しませんが、会長はじめ新役員の新進気鋭の皆さんの会運営へのとりくみが見られ



嬉しくなり投稿するところです。

同窓会発足は一九五五年（昭和三十年）初代会長渡辺、続いて、出窪、堀江、渋谷、福永会長と現六代目中村孝三会長この間多くの役員の方々の献身の奉仕に支えられ七〇周年記念行事、記念誌も発行され、そのご労苦に感謝すると共に、今後発行される同窓会だより短文中でも寄稿頂き、母校の益々の発展と会員の動向の状況が得られることを望んでやみません。

同窓会は永遠にして終点はありませぬ。皆さんお仕事にご健康に日々好日でありますようご精進下さい。以上

記十五年二月二十七日

先輩からは知識経験を学び
後輩からは感覚を学ぶべ

現在の部活動紹介

運動部編

- サッカー部
- 水泳部
- 野球部
- ボート部
- ラグビー部
- 卓球部
- 硬式テニス部
- 陸上部
- ソフトテニス部
- 空手部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- バスケット部
- アウトドア部
- バトミントン部
- 男子バレー部
- 女子バレー部
- ダンス部
- 剣道部
- 柔道部
- 弓道部

文化部編

- 棋道部
- 天文研究部
- 茶道部
- 生花部
- 箏曲部
- 書道部
- 吹奏楽部
- ギター部
- フォーク部
- 音楽部
- 落語研究部
- 美術部
- 映画研究部
- 演劇部
- 写真部
- 英語クラブ
- JRC部
- 化学部
- 新聞部
- 漫画研究部
- 文学部
- 生物部
- 物理部
- 家庭科同好会

「同窓会だより」の申し込み

- ◆購読料
5年分 二、〇〇〇円
- ◆同封の郵便払込用紙にてお振込み下さい。
- ◆口座番号
〇〇—〇〇—三—一五八五三五
(卒業年度または卒業回数を記入下さい)
- ◆今年度は昨年に続き全員配布のため、昨年度購読料をご入金の方は来年度より五年間となります。
- ◆来年度の会報に載せる皆様からの投稿・カット・短歌・俳句・写真などを募集しています。あわせて会報の編集をお手伝いして下さる方も事務局までご一報ください。

☎〇四八—八六六—二三九七

編集後記

全体の同窓会は、同窓生の心と心をむすぶ架け橋として、なつかしい仲間との交流を深め、より充実した活動をめざして、昨年はじめての会報を発刊しました。おおくの会員の方から、会報が届いてとてもうれしかったと喜びの声をいただきました。会員のみならずこの一年間の活動状況をお知らせしたいし、全体同窓会が楽しい思い出作りと出会いの場として益々発展いたしますようご理解とご支援の程お願い申し上げます。
(会報の編集のご経験のお有りの方・得意な方のご協力をお待ちしております。)

18回 中村香美子(旧姓落合) 事務局長

「大高やまぼうし会」全体同窓会

企画 埼玉県立大宮高等学校
発行 大高やまぼうし会
平成十五年四月十五日
印刷 株式会社 秀 飯 舎

- ★在学時からあるクラブ（歴史と伝統）
- ★今はないクラブ…（悲しい!!）
- ★新しくできたクラブ
（時代の変遷を感じますねえ～）
- ★あなたは何部でしたか？
- ★今年で第53回目の卒業生（400名）でした。
- ★あなたは何回生ですか？
（自分の卒業年度をおぼえている人はかなり記憶力がいいですね!!）

これからも後輩達の活動をおおいに応援してあげましょう。
（年に一度の文化祭も見に行こう!!
同窓会ルームもあります。）